授業科目	＊キリスト教と生命倫理					実務家教員担当科目	○
単位	1	履修	必修	開講年次	1	開講時期	通年
担当教員	杉浦　絹子						
授業概要	本学の教育の基盤となるキリスト教精神に基づく人間観や世界観について学修する。生命科学と医療技術の急速な進歩により生命が人の手によって操作される現代、様々な倫理的課題が浮上している。一個人、助産師としてこれらの課題に向き合い、自身の見解を共有し、全体で討議する。						
授業形態	講義			授業方法	ディスカッション		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1．キリスト教的人間観と世界観について説明できる。 2．母子に関わる倫理的課題に対して、助産師の役割を説明できる。 3．共有意思決定支援（Shared Decision Making: SDM）について説明できる。 4．出生前診断、生殖補助医療に関連した倫理的課題について説明できる。 5．他者との価値観の相違も踏まえ、生命倫理に関しての自己の意見を述べることができる。
理想的レベル	周産期にまつわる生命倫理の課題について多角的な視点から自身の考えを述べることができる。 生命倫理に関する課題について倫理的視点から助産師の役割について述べることができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト	50%	
レポート		
発表（口頭、プレゼンテーション）	40%	
レポート外の提出物		
その他	10%	授業への積極的な参加姿勢。ミニッツペーパー。

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	MI11106J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
復習：該当部分を参考図書も活用して復習する	4

授業計画

第 1 回	テーマ：キリスト教精神に基づいた人間観と世界観　　（内部講師）
第 2 回	テーマ：共有意思決定支援（Shared Decision Making: SDM）（杉浦絹子） AYA 世代の女性がん患者の妊孕性温存療法に関する意思決定支援を例に共有意思決定支援の方法について解説する。

第 3 回	テーマ：人工妊娠中絶に関する倫理　（杉浦絹子） 日本における人工妊娠中絶に関する法・現状、世界の人工妊娠中絶に関する論争、合法的に実施できる国での適応時期の相違等、人工妊娠中絶に関する実態を踏まえ、討議を通して倫理的問題に関する自身の考えを深める。
第 4 回	テーマ：生殖補助医療に関する倫理　（杉浦絹子） 卵子凍結、非配偶者間人工授精（AID)、日本では禁止されている代理懐胎に関する実態を踏まえ、討議を通して倫理的問題に関する自身の考えを深める。
第 5 回	テーマ：出生前診断に関する倫理　（杉浦絹子） 非侵襲的遺伝検査（NIPT)、侵襲的確定検査（羊水検査）の実施方法および実施状況、当事者の思いなどを踏まえ、討議を通して倫理的問題に関する自身の考えを深める。
第 6 回	テーマ：出生前診断の臨床（外部講師）
第 7 回	テーマ：周産期と遺伝（外部講師）
第 8 回	テーマ：障がいのある人々のリプロダテクティブ・ライツ、全体総括　（杉浦絹子） ・障がいのある人々の結婚、妊娠・出産・育児の支援についての実態を踏まえ、討議を通して倫理的問題に関する自身の考えを深める。 ・科目全体をとおした総括
テキスト	新共同訳　聖書、日本聖書協会 我部山キヨ子他編：助産学講座 基礎助産学［1］助産学概論　医学書院 工藤美子編：助産師基礎教育テキスト第 1 巻　助産概論・母子保健　日本看護協会出版会 福井トシ子編：助産師業務要覧　基礎編　日本看護協会出版会 吉沢豊予子：助産師基礎教育テキスト第 2 巻　ウィメンズヘルスケア　日本看護協会出版会
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	生命倫理と医療倫理　伏木 信次・樫則章・霜田求編　金芳堂 出生と死をめぐる生命倫理　仁志田博司著　医学書院他、授業中に紹介します。

課題に対するフィードバックの方法	ミニッツペーパーに書かれた質問には、次回の授業時に回答し、クラスで共有します。 試験については、成績発表後に解答例を解説も含めて提示します。
学生へのメッセージ・コメント	本学のキリスト教主義に基づく教育を特徴とする科目であり、広い分野に応用できる内容です。積極的な姿勢で取り組んでください。 チャペルアワーへの出席を推奨します。